

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本フルードパワー工業会 (JFPA) / 財団法人日本規格協会 (JSA) から工業標準原案を具して日本工業規格を規定すべきとの申し出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

油圧—圧力制御弁（リリーフ弁除く）、
シーケンス弁、アンロード弁、
絞り弁及びチェック弁—取付面

Hydraulic fluid power—Pressure-control valves (excluding pressure-relief valves), sequence valves, unloading valves, throttle valves
and check valves—Mounting surfaces

序文 この規格は、1987年に第1版として発行された ISO 5781, Hydraulic fluid power—Pressure-control valves (excluding pressure-relief valves), sequence valves, unloading valves, throttle valves and check valves—Mounting surfaces を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

1. 適用範囲 この規格は、互換性を保証するために、圧力制御弁（リリーフ弁を除く。）、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁の取付面の寸法などについて規定する。この規格は、主に産業機械で使用する圧力制御弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁の取付面に適用する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO 5781 : 1987 Hydraulic fluid power—Pressure-control valves (excluding pressure-relief valves), sequence valves, unloading valves, throttle valves and check valves—Mounting surfaces (IDT)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0021 製品の幾何特性仕様 (GPS) —幾何公差表示方法—形状、姿勢、位置及び振れの公差表示方式

備考 ISO 1101 : 1996, Technical drawings—Geometric tolerancing—Tolerance of form, orientation, location, and run-out—Generalities, definitions, symbols, indications, on drawings が、この規格と一致している。

JIS B 0031 製図—面の肌の図示方法

備考 ISO 1302 : 1978, Technical drawings—Method of indicating surface texture からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS B 0125 油圧及び空気圧用図記号

備考 ISO 1219 : 1991, Fluid power systems and components—Graphic symbols and circuit diagrams—
Part 1 : Graphic symbols からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS B 0142 油圧及び空気圧用語

備考 ISO 5598 : 1985, Fluid power systems and components—Vocabulary からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS B 0601 表面粗さ—定義及び表示

備考 ISO 468 : 1982, Surface roughness—Parameters, their values and general rules for specifying requirements からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS B 8355 油圧用サブプレート取付形 4 ポート電磁切換弁

備考 ISO 4401 : 1994, Hydraulic fluid power—Four-port directional control valves—Mounting surfaces からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS B 8665 油圧—バルブ取付面及びカートリッジ形弁取付穴形状の識別コード

備考 ISO 5783 : 1995, Hydraulic fluid power—Code identification of valve mounting surfaces and cartridge valve cavities が、この規格と一致している。

3. 定義 この規格で用いる主な用語の定義は、**JIS B 0142** による。

4. 記号

4.1 この規格では次の記号を用いる。

- a) A, B, P, T, X 及び Y は、ポートを示す。
- b) F_1 , F_2 , F_3 , F_4 , F_5 及び F_6 は、取付ボルトのねじ穴を表す。
- c) G は、位置決めピンを示す。
- d) D は、取付ボルト径を示す。
- e) $r_{\max}$ は、取付面端部の半径を示す。

4.2 付図 2, 4, 5, 7, 8, 10, 11, 13 及び 14 に使用されている図記号は、**JIS B 0125** による。

4.3 この規格で用いられているコードシステムは、**JIS B 8665** で定義されている。

備考 すべてのバルブのサイズ 03 の取付面において、メインポートの最大直径は、規格で決められている 6.3mm から 7.5mm まで拡大して広く使用されてきている。

5. 公差

5.1 次の値を、取付面、すなわち、一点鎖線で囲まれた部分について適用しなければならない。

- 表面粗さ : $R_a \leq 0.8 \mu\text{m}$ (**JIS B 0601** 及び **JIS B 0031** 参照。)
- 平面度 : 100mm の範囲で 0.01mm 以下 (**JIS B 0021** 参照。)
- 位置決めピン穴の公差 : H12

5.2 次の公差が、原点から x 及び y 軸方向の値に適用される。

- ピン穴 : $\pm 0.1\text{mm}$
- ねじ穴 : $\pm 0.1\text{mm}$
- ポート穴 : $\pm 0.2\text{mm}$

他の寸法に対しては、付図を参照する。

6. 寸法

6.1 油圧の圧力制御弁、シーケンス弁、絞り弁及びチェック弁の取付面の寸法は、**6.2** から **6.6** で表す付図から選定する。

6.2 メインポートの最大径が 4mm の圧力制御弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁（コード：5781-AA-02-4-B）の取付面寸法を、**付図 1** に示す。

6.3 メインポートの最大径が 7.5mm の圧力制御弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁（コード：5781-AB-03-4-B）の取付面寸法を、**付図 3** に示す。

6.4 メインポートの最大径が 14.7mm の圧力制御弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁（コード：5781-AG-06-2-A）の取付面寸法を、**付図 6** に示す。

6.5 メインポートの最大径が 23.4mm の圧力制御弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁（コード：5781-AH-008-2-A）の取付面寸法を、**付図 9** に示す。

6.6 メインポートの最大径が 32mm の圧力制御弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁（コード：5781-AJ-10-2-A）の取付面寸法を、**付図 12** に示す。

7. ポート記号

7.1 圧力制御弁、シーケンス弁、絞り弁及びチェック弁のポート記号は、**7.2** から **7.10** に示す付図から選定する。

7.2 メインポートの最大径が 4mm の直動形圧力制御弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁（コード：5781-AA-02-4-A）の図記号を、**付図 2** に示す。

7.3 メインポートの最大径が 7.5mm の直動形圧力制御弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁（コード：5781-AB-03-4-B）の図記号を、**付図 4** に示す。

7.4 メインポートの最大径が 7.5mm のパイロット操作形圧力制御弁、シーケンス弁及びアンロード弁（コード：5781-AB-03-4-B）の図記号を、**付図 5** に示す。

7.5 メインポートの最大径が 14.7mm の直動形圧力制御弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁（コード：5781-AG-06-2-A）の図記号を、**付図 7** に示す。

7.6 メインポートの最大径が 14.7mm のパイロット操作形圧力制御弁、シーケンス弁及びアンロード弁（コード：5781-AG-06-2-A）の図記号を、**付図 8** に示す。

7.7 メインポートの最大径が 23.4mm の直動形圧力制御弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁（コード：5781-AH-08-2-A）の図記号を、**付図 10** に示す。

7.8 メインポートの最大径が 23.4mm のパイロット操作形圧力制御弁、シーケンス弁及びアンロード弁（コード：5781-AH-08-2-A）の図記号を、**付図 12** に示す。

7.9 メインポートの最大径が 32mm の直動形圧力制御弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁（コード：5781-AJ-10-2-A）の図記号を、**付図 13** に示す。

7.10 メインポートの最大径が 32mm のパイロット操作形圧力制御弁、シーケンス弁及びアンロード弁（コード：5781-AJ-10-2-A）の図記号を、**付図 14** に示す。

8. モジュラ スタック形弁 モジュラ スタック形弁については、**JIS B 8355** で定義される取付面とポート記号を使用する。

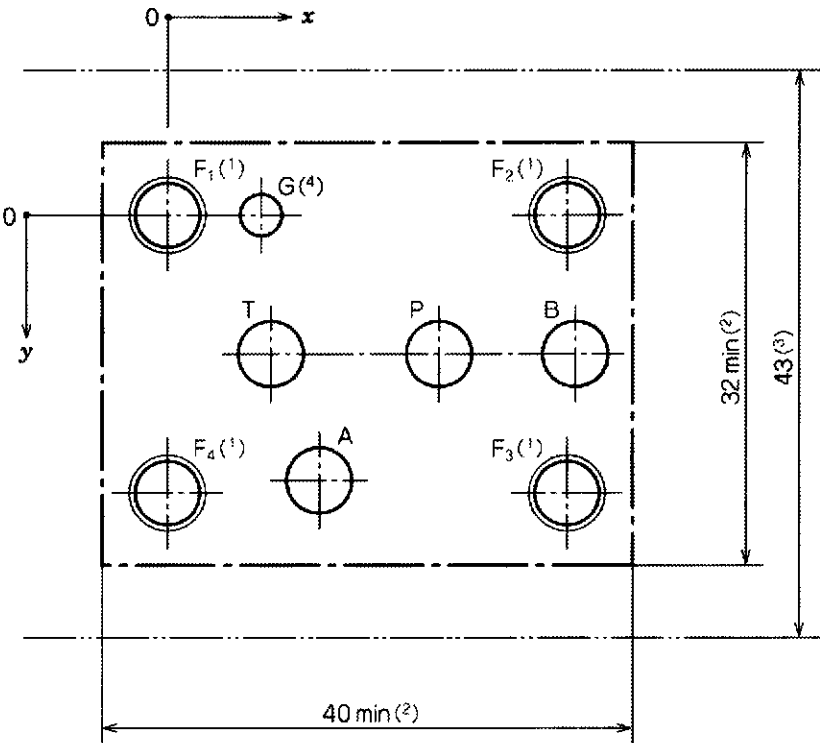
9. 使用圧力 最高使用圧力の指示については、**付図 1, 3, 6, 9 及び 12 の備考 1** を参照する。

10. 規格適合表示 この規格に適合していることを、試験成績書、カタログ及び販売資料に表示したい場合は、次の表現を使用する。

“取付面は、JIS B 8664 油圧－圧力制御弁（リリーフ弁を除く。）、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁－取付面に適合する。”

コード：ISO 5781-AA-02-4-B

単位 mm



- 注⁽¹⁾ 取付ボルトねじ穴の深さは、ボルト径 D の1.5倍以上とするが、バルブの互換性及び取付ボルト長さの種類を減らすために、 $2D+6\text{mm}$ を推奨する。
- なお、鉄系のサブプレート及びマニホールドブロックにおける取付ボルトのはめ合い長さは、 $1.25D$ とするのがよい。
- 注⁽²⁾ 一点鎖線で囲まれた長方形の大きさは、取付面の最小寸法を示すが、長方形のかどは、取付ボルトのねじサイズと同じ半径 r 以下で加工してもよい。また、ねじ穴の位置と取付面の外形線との距離が等しくなるようにする。
- 注⁽³⁾ この寸法は、この取付面をもつバルブに対して必要な最小スペースを示す。また、この寸法は、マニホールドブロック上に複数の同一バルブを並列に配置する場合の最小取付ピッチでもある。バルブの全幅は、この寸法を超えてはならない。
- 注⁽⁴⁾ バルブの位置決めピン穴は、深さ 4mm 以上の止まり穴とする。

備考1. この取付面のサブプレート及びマニホールドブロックの最高使用圧力は、製造業者が指定する。

2. 図記号は、付図2による。

軸	P	A	T	B	G	F ₁	F ₂	F ₃	F ₄
	φ4 最大	φ4 最大	φ4 最大	φ4 最大	φ4	M5	M5	M5	M5
x	18.3	12.9	7.5	27.8	7	0	25.8	25.8	0
y	10.7	20.6	10.7	10.7	0	0	0	21.4	21.4

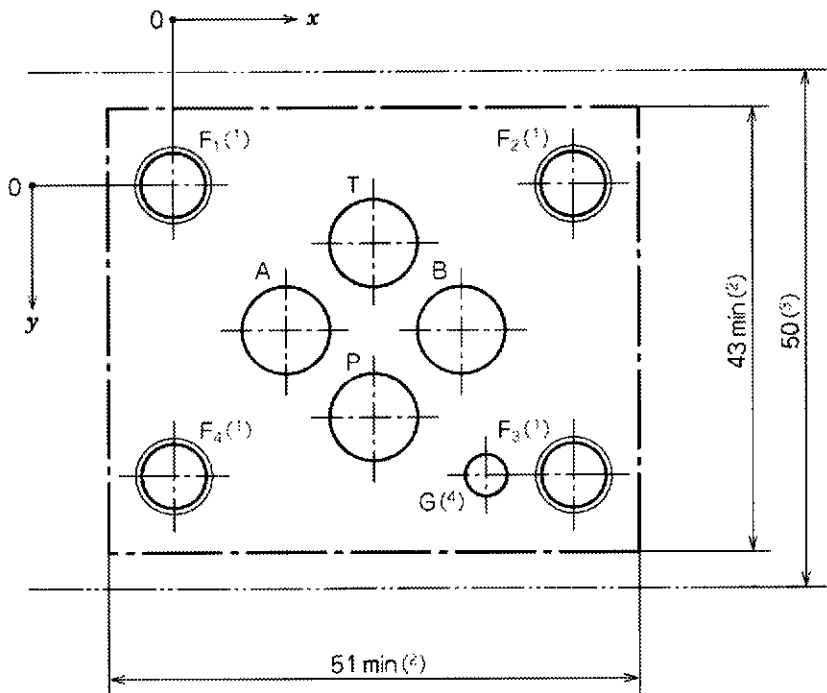
付図1 メインポートのポート径が最大 4mm の圧力調整弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁、チェック弁の取付面（呼び 02）

種類	外部ドレン		内部ドレン	
	内部パイロット	外部パイロット	内部パイロット	外部パイロット
圧力調整弁				
バイパスチェック弁付 圧力調整弁				
シーケンス弁				
バイパスチェック弁付 シーケンス弁				
アンロード弁				
バイパスチェック弁付 アンロード弁				
絞り弁				
バイパスチェック弁付 絞り弁				
チェック弁				
パイロットチェック弁				

付図 2 メインポートのポート径が最大 4mm の直動形圧力調整弁，シーケンス弁，アンロード弁，絞り弁，
チェック弁（コード：ISO 5781-AA-02-4-B）

コード : ISO 5781-AB-03-4-B

単位 mm



- 注⁽¹⁾ 取付ボルトねじ穴の深さは、ボルト径 D の1.5倍以上とするが、バルブの互換性及び取付ボルト長さの種類を減らすために、 $2D+6\text{mm}$ を推奨する。
- なお、鉄系のサブプレート及びマニホールドブロックにおける取付ボルトのはめ合い長さは、 $1.25D$ とするのがよい。
- ⁽²⁾ 一点鎖線で囲まれた長方形の大きさは、取付面の最小寸法を示すが、長方形のかどは、取付ボルトのねじサイズと同じ半径 r 以下で加工してもよい。また、ねじ穴の位置と取付面の外形線との距離が等しくなるようにする。
- ⁽³⁾ この寸法は、この取付面をもつバルブに対して必要な最小スペースを示す。また、この寸法は、マニホールドブロック上に複数の同一バルブを並列に配置する場合の最小取付ピッチでもある。バルブの全幅は、この寸法を超えてはならない。
- ⁽⁴⁾ バルブの位置決めピン穴は、深さ 4mm 以上の止まり穴とする。

備考1. この取付面のサブプレート及びマニホールドブロックの最高使用圧力は、製造業者が指定する。

2. 図記号は、付図 4 及び付図 5 による。

軸	P	A	T	B	G	F ₁	F ₂	F ₃	F ₄
	φ7.5 最大	φ7.5 最大	φ7.5 最大	φ7.5 最大	φ4	M5	M5	M5	M5
x	21.5	12.7	21.5	30.2	33	0	40.5	40.5	0
y	25.9	15.5	5.1	15.5	31.75	0	-0.75	31.75	31

付図 3 メインポートのポート径が最大 7.5mm の圧力調整弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁、チェック弁の取付面（呼び 03）

種類	外部ドレン		内部ドレン	
	内部パイロット	外部パイロット	内部パイロット	外部パイロット
圧力調整弁				
バイパスチェック弁付 圧力調整弁				
シーケンス弁				
バイパスチェック弁付 シーケンス弁				
アンロード弁				
バイパスチェック弁付 アンロード弁				
絞り弁				
バイパスチェック弁付 絞り弁				
チェック弁				
パイロットチェック弁				

付図 4 メインポートのポート径が最大 7.5mm の直動形圧力調整弁, シーケンス弁, アンロード弁, 絞り弁, チェック弁 (コード : ISO 5781-AB-03-4-B)

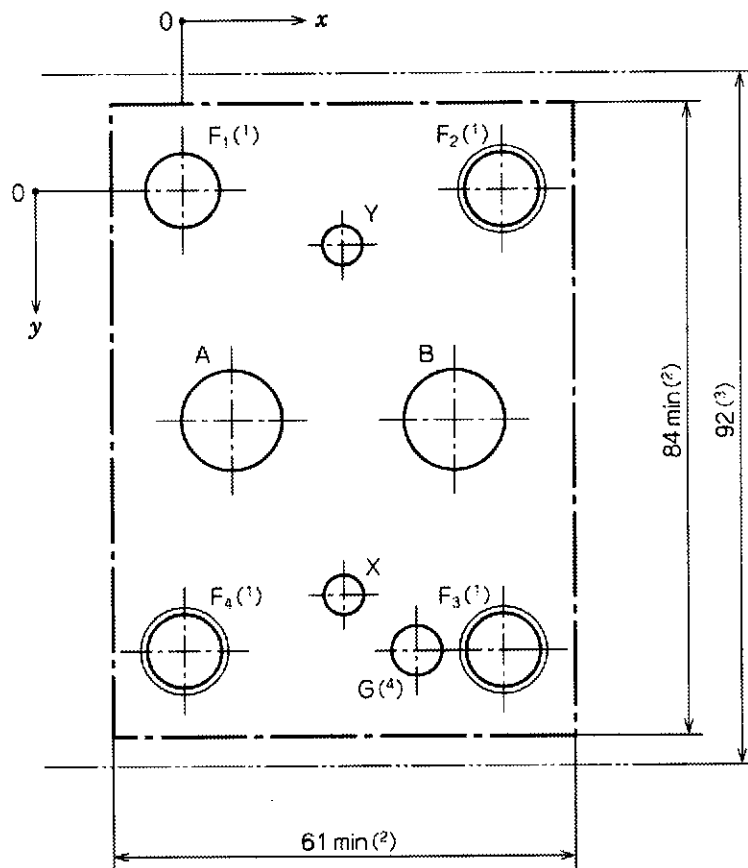
種類	外部ドレン		内部ドレン	
	内部パイロット	外部パイロット	内部パイロット	外部パイロット
圧力調整弁				
バイパスチェック弁付 圧力調整弁				
シーケンス弁				
バイパスチェック弁付 シーケンス弁				
アンロード弁				

注(1) パイロット遠隔操作作用ポート，必要のない場合にはブロックする。

付図 5 メインポートのポート径が最大 7.5mm のパイロット操作形圧力調整弁，シーケンス弁，アンロード弁（コード：ISO 5781-AB-03-4-B）

コード : ISO 5781-AG-06-2-A

単位 mm



注(1) 取付ボルトねじ穴の深さは、ボルト径 D の1.5倍以上とするが、バルブの互換性及び取付ボルト長さの種類を減らすために、 $2D+6\text{mm}$ を推奨する。

なお、鉄系のサブプレート及びマニホールドブロックにおける取付ボルトのはめ合い長さは、 $1.25D$ とするのがよい。

(2) 一点鎖線で囲まれた長方形の大きさは、取付面の最小寸法を示すが、長方形のかどは、取付ボルトのねじサイズと同じ半径 r 以下で加工してもよい。また、ねじ穴の位置と取付面の外形線との距離が等しくなるようにする。

(3) この寸法は、この取付面をもつバルブに対して必要な最小スペースを示す。また、この寸法は、マニホールドブロック上に複数の同一バルブを並列に配置する場合の最小取付ピッチでもある。バルブの全幅は、この寸法を超えてはならない。

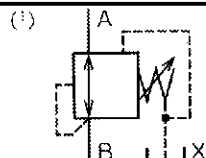
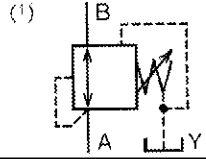
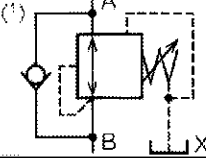
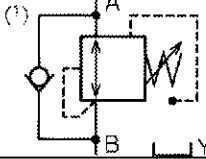
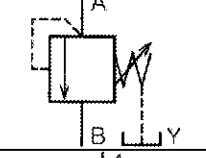
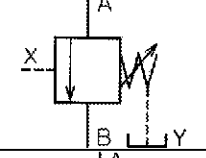
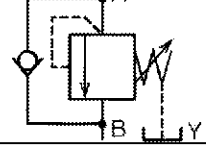
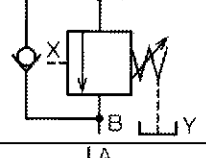
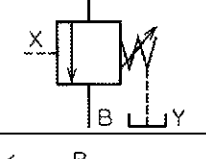
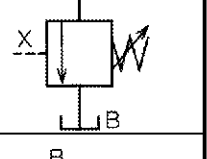
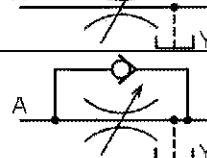
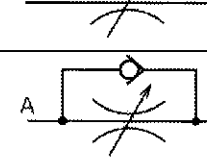
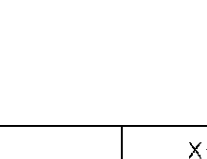
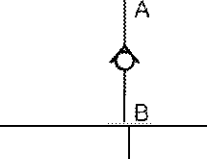
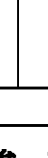
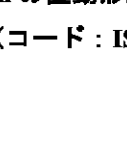
(4) バルブの位置決めピン穴は、深さ 4mm 以上の止まり穴とする。

備考1. この取付面のサブプレート及びマニホールドブロックの最高使用圧力は、製造業者が指定する。

2. 図記号は、付図7及び付図8による。

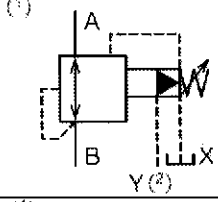
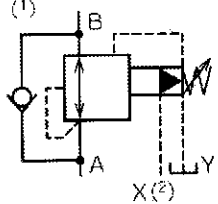
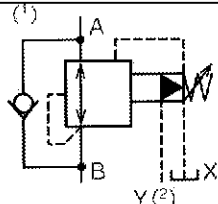
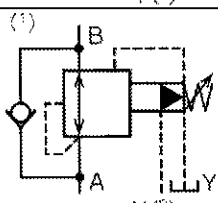
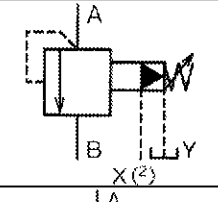
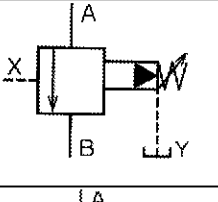
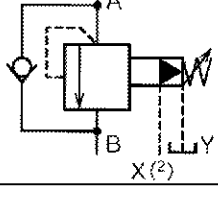
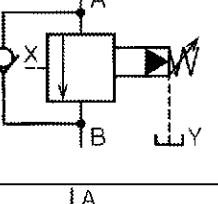
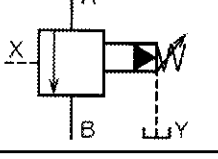
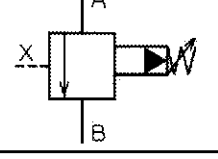
軸	A	B	X	Y	G	F ₁	F ₂	F ₃	F ₄
	φ14.7 最大	φ14.7 最大	φ4.8	φ4.8	φ7.5	M10	M10	M10	M10
x	7.1	35.7	21.4	21.4	31.8	0	42.9	42.9	0
y	33.3	33.3	58.7	7.9	66.7	0	0	66.7	66.7

付図6 メインポートのポート径が最大 14.7mm の圧力調整弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁、チェック弁の取付面（呼び 06）

種類	外部ドレン		内部ドレン	
	内部パイロット	外部パイロット	内部パイロット	外部パイロット
圧力調整弁	(1) 			
	(1) 			
バイパスチェック弁付 圧力調整弁	(1) 			
	(1) 			
シーケンス弁				
バイパスチェック弁付 シーケンス弁				
アンロード弁				
絞り弁				
バイパスチェック弁付 絞り弁				
チェック弁				
パイロットチェック弁				

注(1) 2ポートタイプは現在のものと一致する。

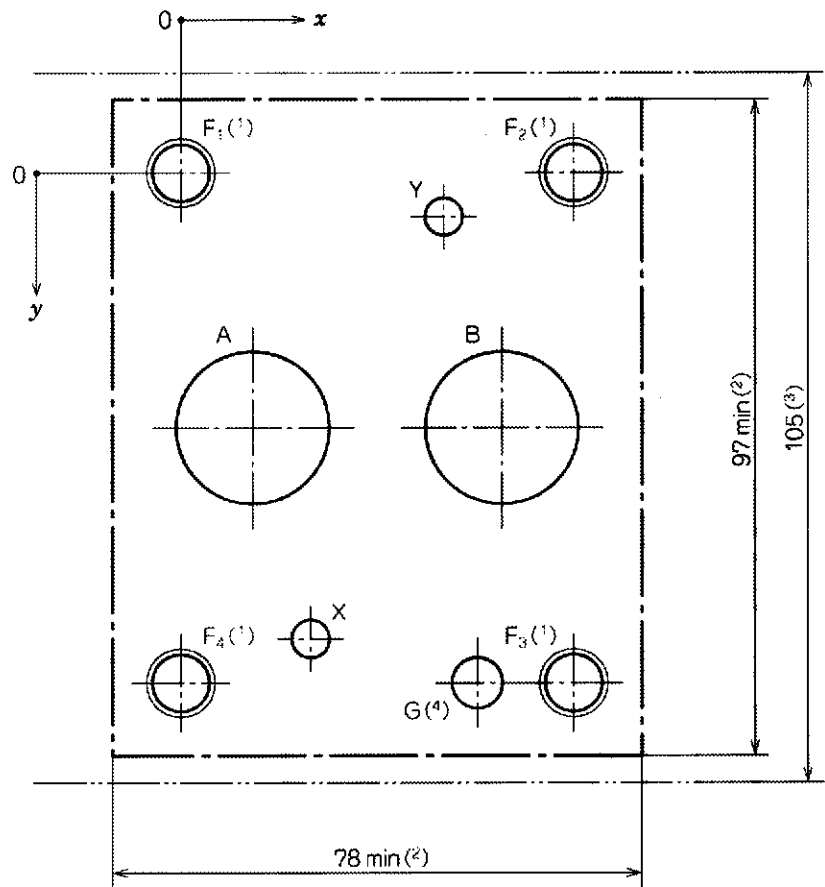
付図7 メインポートのポート径が最大 14.7mm の直動形圧力調整弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁、チェック弁（コード：ISO 5781-G-06-2-A）

種類	外部ドレン		内部ドレン	
	内部パイロット	外部パイロット	内部パイロット	外部パイロット
圧力調整弁	(1) 			
	(1) 			
バイパスチェック弁付 圧力調整弁	(1) 			
	(1) 			
シーケンス弁				
バイパスチェック弁付 シーケンス弁				
アンロード弁				
注(1) 2ポートタイプは現在のものと一致する。 (2) パイロット遠隔操作用ポート，必要のない場合にはブロックする。				

付図 8 メインポートのポート径が最大 14.7mm のパイロット操作形圧力調整弁，シーケンス弁，アンロード弁（コード：ISO 5781-AG-06-2-A）

コード : ISO 5781-AH-08-2-A

単位 mm



- 注(1) 取付ボルトねじ穴の深さは、ボルト径 D の1.5倍以上とするが、バルブの互換性及び取付ボルト長さの種類を減らすために、 $2D+6\text{mm}$ を推奨する。
- なお、鉄系のサブプレート及びマニホールドブロックにおける取付ボルトのはめ合い長さは、 $1.25D$ とするのがよい。
- (2) 一点鎖線で囲まれた長方形の大きさは、取付面の最小寸法を示すが、長方形のかどは、取付ボルトのねじサイズと同じ半径 r 以下で加工してもよい。また、ねじ穴の位置と取付面の外形線との距離が等しくなるようにする。
- (3) この寸法は、この取付面をもつバルブに対して必要な最小スペースを示す。また、この寸法は、マニホールドブロック上に複数の同一バルブを並列に配置する場合の最小取付ピッチでもある。バルブの全幅は、この寸法を超えてはならない。
- (4) バルブの位置決めピン穴は、深さ 4mm 以上の止まり穴とする。

備考1. この取付面のサブプレート及びマニホールドブロックの最高使用圧力は、製造業者が指定する。

2. 図記号は、付図 10 及び付図 11 による。

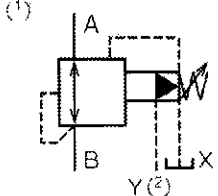
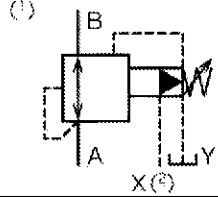
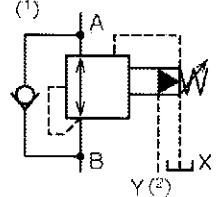
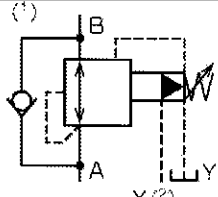
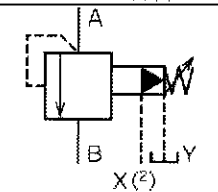
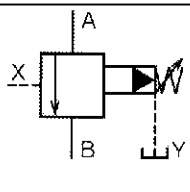
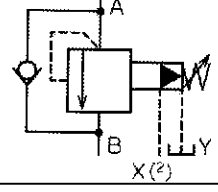
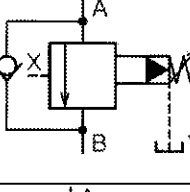
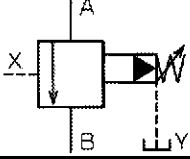
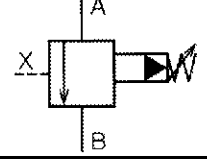
軸	A	B	X	Y	G	F ₁	F ₂	F ₃	F ₄
	φ23.4 最大	φ23.4 最大	φ4.8	φ4.8	φ7.5	M10	M10	M10	M10
x	11.1	49.2	20.8	39.7	44.5	0	60.3	60.3	0
y	39.7	39.7	73	6.4	79.4	0	0	79.4	79.4

付図 9 メインポートのポート径が最大 23.4mm の圧力調整弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁、チェック弁の取付面（呼び 08）

種類	外部ドレン		内部ドレン	
	内部パイロット	外部パイロット	内部パイロット	外部パイロット
圧力調整弁	(1)			
	(1)			
バイパスチェック弁付 圧力調整弁	(1)			
	(1)			
シーケンス弁				
バイパスチェック弁付 シーケンス弁				
アンロード弁				
絞り弁				
バイパスチェック弁付 絞り弁				
チェック弁				
パイロットチェック弁				

注(1) 2ポートタイプは現在のものと一致する。

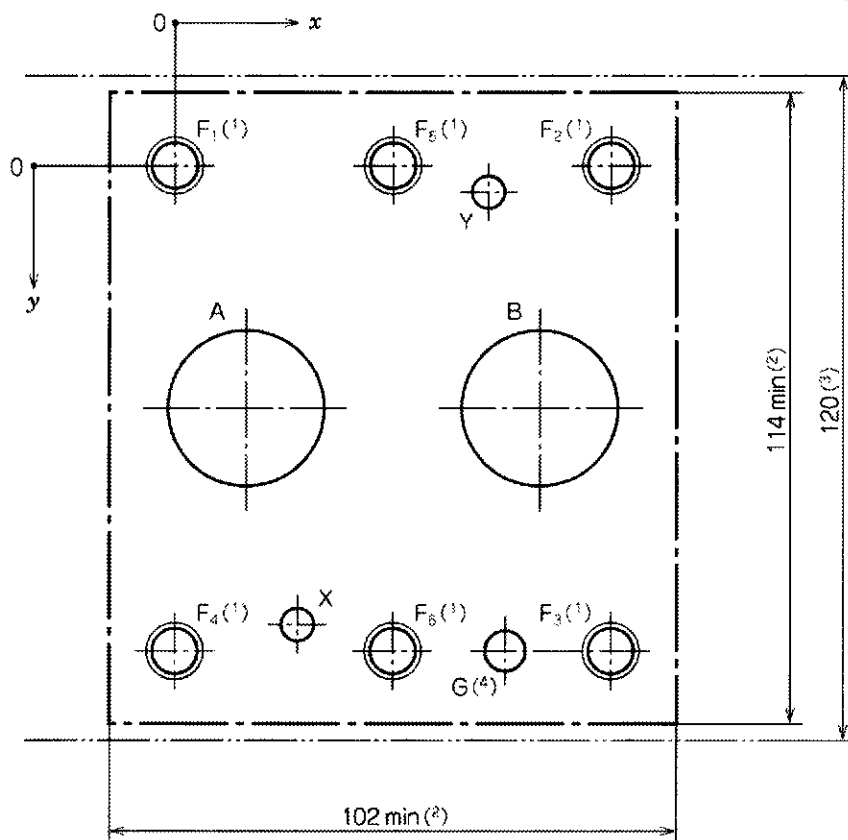
付図 10 メインポートのポート径が最大 23.4mm の直動形圧力調整弁，シーケンス弁，アンロード弁，絞り弁，チェック弁（コード：ISO 5781-AH-08-2-A）

種類	外部ドレン		内部ドレン	
	内部パイロット	外部パイロット	内部パイロット	外部パイロット
圧力調整弁	(1) 			
	(1) 			
バイパスチェック弁付 圧力調整弁	(1) 			
	(1) 			
シーケンス弁				
バイパスチェック弁付 シーケンス弁				
アンロード弁				
注(1) 2ポートタイプは現在のものと一致する。 (2) パイロット遠隔操作ポイント，必要のない場合にはブロックする。				

付図 11 メインポートのポート径が最大 23.4mm のパイロット操作形圧力調整弁，シーケンス弁，アンロード弁（コード：ISO 5781-AH-08-2-A）

コード : ISO 5781-AJ-10-2-A

単位 mm



注(1) 取付ボルトねじ穴の深さは、ボルト径 D の1.5倍以上とするが、バルブの互換性及び取付ボルト長さの種類を減らすために、 $2D+6\text{mm}$ を推奨する。

なお、鉄系のサブプレート及びマニホールドブロックにおける取付ボルトのはめ合い長さは、 $1.25D$ とするのがよい。

(2) 一点鎖線で囲まれた長方形の大きさは、取付面の最小寸法を示すが、長方形のかどは、取付ボルトのねじサイズと同じ半径 r 以下で加工してもよい。また、ねじ穴の位置と取付面の外形線との距離が等しくなるようにする。

(3) この寸法は、この取付面をもつバルブに対して必要な最小スペースを示す。また、この寸法は、マニホールドブロック上に複数の同一バルブを並列に配置する場合の最小取付ピッチでもある。バルブの全幅は、この寸法を超えてはならない。

(4) バルブの位置決めピン穴は、深さ 4mm 以上の止まり穴とする。

備考1. この取付面のサブプレート及びマニホールドブロックの最高使用圧力は、製造業者が指定する。

2. 図記号は、付図 13 及び付図 14 による。

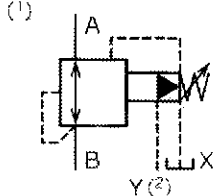
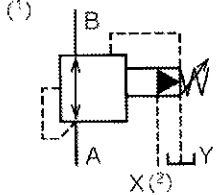
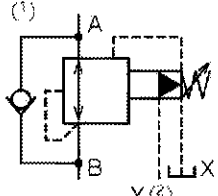
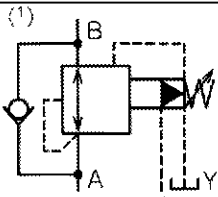
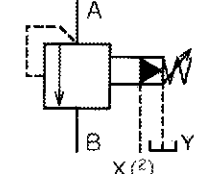
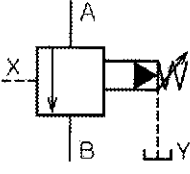
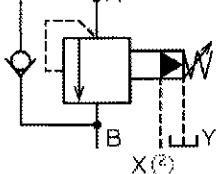
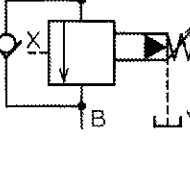
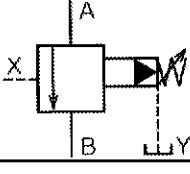
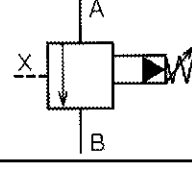
軸	A	B	X	Y	G	F ₁	F ₂	F ₃	F ₄	F ₅	F ₆
	φ2 最大	φ2 最大	φ4.8	φ4.8	φ7.5	M10	M10	M10	M10	M10	M10
x	16.7	67.5	24.6	59.6	62.7	0	84.1	84.1	0	42.1	42.1
y	48.4	48.4	92.9	4	96.8	0	0	96.8	96.8	0	96.8

付図 12 メインポートのポート径が最大 32mm の圧力調整弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁、チェック弁の取付面（呼び 10）

種類	外部ドレン		内部ドレン	
	内部パイロット	外部パイロット	内部パイロット	外部パイロット
圧力調整弁	(1) 			
	(1) 			
バイパスチェック弁付 圧力調整弁	(1) 			
	(1) 			
シーケンス弁				
バイパスチェック弁付 シーケンス弁				
アンロード弁				
絞り弁				
バイパスチェック弁付 絞り弁				
チェック弁				
パイロットチェック弁				

注(1) 2ポートタイプは現在のものと一致する。

付図 13 メインポートのポート径が最大 32mm の直動形圧力調整弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁、チェック弁（コード：ISO 5781-AJ-10-2-A）

種類	外部ドレン		内部ドレン	
	内部パイロット	外部パイロット	内部パイロット	外部パイロット
圧力調整弁	⁽¹⁾ 			
	⁽¹⁾ 			
バイパスチェック弁付 圧力調整弁	⁽¹⁾ 			
	⁽¹⁾ 			
シーケンス弁				
バイパスチェック弁付 シーケンス弁				
アンロード弁				

注⁽¹⁾ 2ポートタイプは現在のものと一致する。

⁽²⁾ パイロット遠隔操作作用ポート，必要のない場合にはブロックする。

付図 14 メインポートのポート径が最大 32mm のパイロット操作形圧力調整弁，シーケンス弁，アンロード弁（コード：ISO 578-AJ-10-2-A）

JIS 原案作成本委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	竹 中 俊 夫	東京工業大学名誉教授
	香 川 利 春	東京工業大学
	藤 田 昌 宏	通商産業省
	橋 本 進	財団法人日本規格協会
	村 井 孝 宣	財団法人機械振興協会
	岡 安 英 雄	財団法人日本工作機械工業会
	渡 並 直	トヨタ自動車株式会社
	小 林 隆 博	コベルコ建機株式会社
	黒 部 昌 徳	東芝機械株式会社
	荒 木 義 昭	株式会社日平トヤマ
	小 林 周 二	日精樹脂株式会社
	美濃越 昌 二	日本電気株式会社
(分科会主査)	石 井 進	内田油圧機器工業株式会社
	小 池 一 夫	イハラサイエンス株式会社
	赤 井 英 夫	太陽鉄工株式会社
	千 葉 誠	カバヤ工業株式会社
	築比地 仁	川崎重工工業株式会社
	木 原 和 幸	株式会社トキメック
(事務局)	堀 切 俊 彦	社団法人日本フルードパワー工業会
	三 浦 吉 成	財団法人日本フルードパワー工業会

原案作成分科会 構成表

	氏名	所属
	福 田 守 也	カヤバ工業株式会社
	福 田 展 也	川崎重工工業株式会社
	上 林 淳 浩	ダイキン工業株式会社
	林 喜与志	株式会社トキメック
	杉 山 優	豊興工業株式会社
	井 奥 賢 介	株式会社ナブコ
	杉 村 佳 春	日本ムーグ株式会社
	田 中 武	廣瀬バルブ工業株式会社
	田 村 紀 光	株式会社不二越
	野 瀬 實	油研工業株式会社
	丸 山 純	株式会社コマツ
	小 嶋 敏 明	株式会社廣瀬製作所
	大 津 涉	日立建機株式会社
	日 垣 重 彦	東京精密測器株式会社
	石 井 進	内田油圧機器工業株式会社
	堀 切 俊 彦	社団法人日本フルードパワー工業会
		(文責 石井 進)